

電子くじのしくみ

くじにより順位を決定する方法は次のとおりです。

- (ア) 入札書提出時に、任意の3桁の数値を入札参加者が入力する。(①)
- (イ) 入札書提出時間により算出されるシステム割付番号を(②)とする。
- (ウ) ①+②の下3桁を確定くじ番号とします。(③)
- (エ) 同価の入札者を入札書提出日時順に並べ、入札書提出日時の早い順に0から順に番号を付ける。(④)
- (オ) 同価の入札者の確定くじ番号(③)を合算し、同価の入札者数で割り、その「余り」の数字が(エ)で決めた番号と同じ者を順位1とする。
- (カ) (オ)で決まった順位1に続く順位は、順位1の入札書提出日時(以下「基準日時」という。)以降に入札書を提出した者から④の入札書提出順により決定する。基準日時以前に入札書を提出した者の順位は、入札書を最も遅く提出した者の順位に続けて④の入札書提出順が0の者から順に決定する。

★同価の入札者が5者の場合の調査順位を決める計算例

入札参加者	入力くじ番号 ①	入札書提出日時	システム割付番号 ②	確定くじ番号 (①+②の下3桁) ③	入札書提出順 ④	順位
A者	943	H23.11.1 12:00:12 1320148812	812	755 (1755)	0	4
B者	488	H23.11.2 9:05:55 1320224755	755	243 (1243)	1	5
C者	601	H23.11.2 10:13:30 1320228810	810	411 (1411)	2	1
D者	509	H23.11.2 10:19:30 1320229170	170	679	3	2
E者	574	H23.11.2 14:00:00 1320242400	400	974	4	3

※システム割付番号②は、世界標準時刻(1970年1月1日0:00:00)から入札書提出日時までの経過時間を秒単位で取得し、下3桁の数値を使用している。

同価の入札者の確定くじ番号【③】を合算し、同価の入札者数で割り、余りを求める。

$$\begin{array}{cccccc}
 A & B & C & D & E & \\
 755 & + & 243 & + & 411 & + & 679 & + & 974 & = & 3062 \\
 & & & & & & & & & & 3062 \div 5 \text{ 者} = 612 \cdots \mathbf{2 \text{ (余り)}}
 \end{array}$$

(余り)の数字と入札書提出順④の数字が一致した入札参加者の順位を1とする。

順位2以降は、④の入札書提出順の番号に従い、図のように順位を決定する。